

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社KSK

上場取引所 東

コード番号 9687

URL <http://www.ksk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河村 具美

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 牧野 信之

TEL 042-378-1100

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,289	1.9	565	△6.1	594	△5.6	345	△9.1
25年3月期第3四半期	9,116	1.9	602	26.8	629	18.3	379	68.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 407百万円 (3.4%) 25年3月期第3四半期 394百万円 (84.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.20	—
25年3月期第3四半期	59.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	10,582	—	8,142	—	76.9	1,280.67
25年3月期	10,739	—	7,845	—	73.0	1,229.65

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,139百万円 25年3月期 7,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 15円00銭

配当予想の修正については、本日(平成26年2月4日)公表いたしました「平成26年3月期 配当予想の修正(創立40周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	9.4	840	△0.2	870	△1.5	530	△1.9	83.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	7,636,368 株	25年3月期	7,636,368 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,280,650 株	25年3月期	1,260,625 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,365,397 株	25年3月期3Q	6,375,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、自己株式取得後の発行済株式数(自己株式は除く)により算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀による金融緩和や政府による各種経済対策の効果により円安や株価上昇が進み、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による個人消費の持ち直し等も加わったことで、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による輸入原材料の上昇、消費税増税後の消費低迷や新興国の経済成長の減速が懸念されるなど、先行きが不透明なまま推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、企業業績の回復に伴いIT投資は回復傾向にあるものの、デフレの影響や一般競争入札が一般化し、受注額や受注単価は依然厳しい状況で推移しております。

このような環境の中で、当社グループでは情報インフラ整備や保守業務分野が続伸し、また半導体設計関連業務も採算性が改善されるなど好転し、ITソリューション事業での受注減を補って僅かながら増収となりました。しかしながら、社内基幹システムの入替に伴うコストや採用活動に伴う経費が増加したことなどにより、収益性が悪化し全体としては減益となりました。施策面ではCS活動により他社とのサービスの差別化を図るとともに、経験者や第二新卒者の積極的な採用活動を展開することで人材確保に努め、また、競争優位性の源泉である現場力ならびに人間力の強化のため、継続的な教育投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,289百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益につきましては565百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益につきましては594百万円（前年同期比5.6%減）、四半期純利益につきましては345百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

組込ソフトウェア開発業務や装置設計業務といった既存業務の受注が伸び悩む一方で、半導体設計関連業務で採算性が改善されたことなどにより、売上高は1,909百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は447百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

利益率の高いコンテンツ変換ツール等の既存製品の受注減少、一部で予定していた業務の受注遅延や業務量の減少等により稼働率が低下したことなどから、売上高は2,734百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は274百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

情報インフラに関する部分の業務は、比較的安定した需要に支えられ受注も伸びていることなどから、売上高は4,645百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は749百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、10,582百万円と前連結会計年度末に比べ156百万円の減少となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が61百万円、仕掛品が172百万円と有価証券が299百万円それぞれ増加した一方で、流動資産の受取手形及び売掛金が375百万円、固定資産の投資有価証券が219百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、2,439百万円と前連結会計年度末に比べ453百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、賞与引当金が400百万円、未払法人税等が161百万円それぞれ減少した一方で、短期借入金が40百万円、流動負債その他に含まれる預り金が79百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、8,142百万円と前連結会計年度末に比べ297百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が四半期純利益345百万円の計上により増加した一方で、配当金の支払いにより95百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,556,998	4,618,028
受取手形及び売掛金	2,435,019	2,059,577
有価証券	200,000	499,888
商品	4,140	5,084
仕掛品	104,926	277,113
原材料及び貯蔵品	1,089	754
その他	694,946	680,979
貸倒引当金	△43,798	△37,998
流動資産合計	7,953,322	8,103,427
固定資産		
有形固定資産	721,270	689,708
無形固定資産	180,195	150,298
投資その他の資産		
投資有価証券	1,411,407	1,192,082
その他	595,849	474,876
貸倒引当金	△123,000	△28,000
投資その他の資産合計	1,884,257	1,638,958
固定資産合計	2,785,723	2,478,964
資産合計	10,739,045	10,582,392
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,726	134,909
短期借入金	60,000	100,000
未払法人税等	232,423	71,370
賞与引当金	803,600	403,484
工事損失引当金	1,559	892
その他	859,343	895,794
流動負債合計	2,120,653	1,606,451
固定負債		
退職給付引当金	555,888	596,284
役員退職慰労引当金	174,974	195,146
資産除去債務	42,066	41,882
固定負債合計	772,929	833,312
負債合計	2,893,582	2,439,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448,468	1,448,468
資本剰余金	1,636,996	1,636,996
利益剰余金	5,318,319	5,567,710
自己株式	△633,959	△646,115
株主資本合計	7,769,824	8,007,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,088	132,525
その他の包括利益累計額合計	70,088	132,525
少数株主持分	5,549	3,042
純資産合計	7,845,463	8,142,628
負債純資産合計	10,739,045	10,582,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,116,334	9,289,366
売上原価	7,364,516	7,531,959
売上総利益	1,751,817	1,757,407
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△5,202	△12,506
役員報酬	133,053	139,218
給料及び手当	323,180	279,769
賞与引当金繰入額	20,777	17,843
退職給付費用	8,116	8,296
役員退職慰労引当金繰入額	17,838	20,171
減価償却費	38,714	45,740
その他	613,142	693,584
販売費及び一般管理費合計	1,149,618	1,192,116
営業利益	602,199	565,290
営業外収益		
受取利息	11,177	13,260
受取配当金	12,802	6,962
その他	11,915	9,580
営業外収益合計	35,894	29,803
営業外費用		
支払利息	599	591
和解金	6,373	—
その他	1,524	92
営業外費用合計	8,497	684
経常利益	629,597	594,409
特別利益		
受取保険金	1,600	3,200
特別利益合計	1,600	3,200
特別損失		
固定資産除却損	281	2,123
特別損失合計	281	2,123
税金等調整前四半期純利益	630,915	595,486
法人税等	250,785	249,966
少数株主損益調整前四半期純利益	380,130	345,520
少数株主利益	735	492
四半期純利益	379,394	345,027

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	380,130	345,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,452	62,436
その他の包括利益合計	14,452	62,436
四半期包括利益	394,583	407,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,847	407,464
少数株主に係る四半期包括利益	735	492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平24年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,887,728	2,776,101	4,452,504	9,116,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,223	4,050	15,273
計	1,887,728	2,787,324	4,456,554	9,131,607
セグメント利益	396,121	351,555	711,000	1,458,677

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,458,677
セグメント間取引消去	82,539
全社費用(注)	△939,018
四半期連結損益計算書の営業利益	602,199

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,909,373	2,734,039	4,645,954	9,289,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,012	4,563	12,576
計	1,909,373	2,742,052	4,650,517	9,301,943
セグメント利益	447,981	274,936	749,073	1,471,991

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,471,991
セグメント間取引消去	74,709
全社費用（注）	△981,409
四半期連結損益計算書の営業利益	565,290

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。